



# 平成29年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 M-イード  
 コード番号 6038 URL <http://www.iid.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 宮川 洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部 本部長 (氏名) 工木 大造  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03(5990)5330

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	3,401	1.3	169	44.1	172	42.0	36	79.2
28年6月期第3四半期	3,447	25.0	302	28.4	297	26.6	173	28.9

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 53百万円 (70.9%) 28年6月期第3四半期 184百万円 (29.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	7.32	7.09
28年6月期第3四半期	35.44	34.14

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	4,204	3,053	71.6
28年6月期	4,232	3,045	71.2

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 3,011百万円 28年6月期 3,014百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期		0.00		0.00	0.00
29年6月期		0.00			
29年6月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	3.7	80	73.8	75	74.9	0	100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期3Q	4,959,100 株	28年6月期	4,925,400 株
期末自己株式数	29年6月期3Q	株	28年6月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期3Q	4,936,933 株	28年6月期3Q	4,903,377 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当社のコンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP事業）が属するインターネット広告市場につきましては、「2016年 日本の広告費」（株式会社電通）によると平成28年のインターネット広告費（媒体費のみ）は1兆378億円（前年比112.9%）となり、初めて1兆円を超えました。このうち運用型広告費は、7,383億円（同118.6%）。運用型広告が好調な主な要因としては、データ/テクノロジーを重要視する広告主が増え、データ連携可能な運用型への注目が高まったことや、高機能化によってリーチやブランディングなどの役割もカバーし始めたことなどが挙げられます。また、市場全体で動画ニーズは継続的に拡大しております。動画領域の拡大トレンドをけん引するソーシャルネットワークワーキングサービス（SNS）では、運用型がメインとなっており、従来からあるサーチ（検索連動型）に対して、ディスプレイ広告の比重が高まることで、動画、特にスマートフォンのインフィード広告が新しい成長領域となり、運用型ディスプレイ広告での競争が激化しました。広告主によるデータ・マネジメント・プラットフォーム（DMP）の活用ニーズの高まりとともに、運用型がそのニーズに応える手法として進化しながら、現在のネット広告市場全体をけん引しております。

こうした環境の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は3,401,389千円（前年同期比1.3%減）、営業利益は169,180千円（前年同期比44.1%減）、経常利益は172,266千円（前年同期比42.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は36,159千円（前年同期比79.2%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① コンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP事業）

CMP事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の月間平均（平成28年7月から平成29年3月の9ヶ月平均）PV数は、143,104千PV/月となり、前連結会計年度の月間平均（12ヶ月平均）PV数150,019千PV/月から、4.6%減少しました。また同UU数は30,568千UU/月となり、前連結会計年度の同UU数34,368千UU/月から11.1%減少しております。この影響により、運用型広告※1を中心に当社の主要な収益であるパフォーマンス広告売上（アドネットワーク※2などの運用型広告とアフィリエイト広告※3を併せた売上品目）は571,126千円（前年同期比24.9%減）、提案型広告売上高は363,192千円（前年同期比4.3%増）、純広告売上高103,081千円（前年同期比15.0%減）となりました。また、直近3年以内にM&Aで取得した事業の貢献などにより、データ・コンテンツ提供売上高は1,238,985千円（前年同期比16.3%増加）となりました。

一方で、セールスマックスの変化により、外注費や物流費等が増加したことで、セグメント利益（営業利益）は減少となりました。

以上の結果、当セグメント売上高は2,755,596千円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益（営業利益）は86,336千円（前年同期比61.2%減）となりました。

#### ② コンテンツマーケティングソリューション事業（CMS事業）

CMS事業におきましては、リサーチソリューション（米子会社を除く）では受注件数は前年同期比9.1%減少したものの、得意とする自動車関連業界からの受注増により単価が前年同期比7.7%増加したこと等により、売上高は前年同期比2.1%の減少、営業利益は前年同期比12.1%増加しました。また、メディアコマースは受注件数が前年同期比6.2%減少しましたが、単価は前年同期比15.3%増加したことで、売上高が前年同期比8.1%増加、営業利益は前年同期比19.7%増加しました。

以上の結果、当セグメント売上高は645,792千円（前年同期比6.0%減）、セグメント利益（営業利益）は82,843千円（前年同期比3.5%増）となりました。

※1 運用型広告：Web広告の中におけるアドネットワーク及びリスティング広告の全てを合算したもの

※2 アドネットワーク：異なる複数のインターネット広告を束ねて広告をネットワーク配信する仕組み。

※3 アフィリエイト広告：成果報酬型のインターネット広告。商品購入や資料請求などの、最終成果またはクリックが発生した件数に応じて広告費用を支払う。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,204,499千円(前連結会計年度末比28,263千円減)となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が82,970千円、投資その他の資産が26,265千円増加した一方で、現金及び預金が57,069千円、のれんを含む無形固定資産が94,951千円減少したこと等によるものです。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は1,150,789千円(前連結会計年度末比36,795千円減)となりました。これは主に、買掛金が31,160千円増加した一方で、長期借入金が35,580千円、未払法人税等が25,104千円減少したこと等によるものであります。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,053,709千円(前連結会計年度末比8,532千円増)となりました。これは主に、資本金が7,477千円、利益剰余金が36,159千円、非支配株主持分が11,132千円増加した一方で、資本剰余金が50,209千円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成29年2月10日に公表しました内容に変更はございません。なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,846,362	1,789,292
受取手形及び売掛金	969,415	1,052,385
商品及び製品	104,956	104,400
仕掛品	17,735	19,618
原材料及び貯蔵品	1,343	4,262
その他	116,387	126,150
貸倒引当金	△18,837	△23,935
流動資産合計	3,037,363	3,072,176
固定資産		
有形固定資産	97,248	102,857
無形固定資産		
のれん	523,472	467,971
その他	187,208	147,759
無形固定資産合計	710,681	615,730
投資その他の資産	387,469	413,735
固定資産合計	1,195,399	1,132,323
資産合計	4,232,762	4,204,499

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	551,544	582,704
電子記録債務	43,477	44,566
短期借入金	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	43,824	46,149
未払法人税等	25,600	496
賞与引当金	13,906	21,966
ポイント引当金	10,163	8,609
返品調整引当金	30,034	33,448
その他	307,752	276,568
流動負債合計	1,046,303	1,034,510
固定負債		
長期借入金	91,656	56,075
役員退職慰労引当金	114	114
資産除去債務	32,282	32,520
その他	17,228	27,569
固定負債合計	141,281	116,279
負債合計	1,187,585	1,150,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	854,379	861,856
資本剰余金	896,413	846,203
利益剰余金	1,264,849	1,301,008
株主資本合計	3,015,641	3,009,067
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,421	2,551
その他の包括利益累計額合計	△1,421	2,551
非支配株主持分	30,958	42,090
純資産合計	3,045,177	3,053,709
負債純資産合計	4,232,762	4,204,499

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	3,447,343	3,401,389
売上原価	1,772,500	1,845,850
売上総利益	1,674,842	1,555,538
販売費及び一般管理費	1,372,087	1,386,358
営業利益	302,754	169,180
営業外収益		
受取利息	358	229
受取配当金	2,000	2,800
為替差益	181	—
受取保険金	—	2,602
助成金収入	—	2,246
その他	881	559
営業外収益合計	3,422	8,438
営業外費用		
子会社移転費用	4,274	—
支払利息	2,080	2,367
為替差損	—	1,400
株式交付費	200	90
その他	2,417	1,494
営業外費用合計	8,972	5,352
経常利益	297,204	172,266
特別利益		
固定資産売却益	—	162
投資有価証券売却益	—	149
特別利益合計	—	312
特別損失		
投資有価証券評価損	—	5,434
特別調査費用等	—	31,193
減損損失	—	37,257
特別損失合計	—	73,885
税金等調整前四半期純利益	297,204	98,693
法人税、住民税及び事業税	77,249	28,871
法人税等調整額	28,475	19,913
法人税等合計	105,724	48,784
四半期純利益	191,479	49,908
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,706	13,749
親会社株主に帰属する四半期純利益	173,773	36,159

四半期連結包括利益計算書  
第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 7 月 1 日 至 平成28年 3 月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成28年 7 月 1 日 至 平成29年 3 月31日)
四半期純利益	191,479	49,908
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△6,631	3,973
その他の包括利益合計	△6,631	3,973
四半期包括利益	184,848	53,881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,142	40,132
非支配株主に係る四半期包括利益	17,706	13,749

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

(当社子会社での特別損失の計上について)

平成28年10月3日に公表いたしました通り、当社の子会社である株式会社エンファクトリーが運営するオンラインショップ「STYLE STORE(<http://stylestore.jp/>)」及び「COCOMO(<http://cocomo.to/>)」(以下「当サイト」といいます)において、第三者による不正アクセスがあり、お客様のクレジットカード情報を含む個人情報が不正に取得された可能性があることを確認いたしました。その後、当サイトにおけるクレジットカード決済をカード会社より指定されたセキュリティ基準を満たす「非通過型タイプ」へ変更し、平成28年10月26日にクレジットカード決済を再開しております。

当第3四半期連結累計期間において、第三者機関による特別調査費用等31,193千円を特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	コンテンツ マーケティング プラットフォーム 事業	コンテンツ マーケティング ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,760,632	686,710	3,447,343	—	3,447,343
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,760,632	686,710	3,447,343	—	3,447,343
セグメント利益	222,675	80,079	302,754	—	302,754

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

コンテンツマーケティングプラットフォーム事業において、株式会社ドリームリンクの全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、113,028千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	コンテンツ マーケティング プラットフォーム 事業	コンテンツ マーケティング ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,755,596	645,792	3,401,389	—	3,401,389
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,755,596	645,792	3,401,389	—	3,401,389
セグメント利益	86,336	82,843	169,180	—	169,180

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

コンテンツマーケティングプラットフォーム事業において、37,257千円の固定資産の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。